

第1回 北海道チャレンジカップ

1 形競技

(1) 共通事項

- ・審判3名によるフラッグ方式（2名同時演武）
- ・礼が無い場合は主審の指導で礼をさせる（失格・減点はしない）

(2) 予選（リーグ戦、フラッグ判定、上位2名が決勝トーナメントへ進出）

- ・基本形のみ（同じ形を繰り返し使用してもよい）
- ・主審は赤・青の順に形名を確認後、笛を吹く（選手は自身のタイミングで始める）
- ・勝ち3点、負け0点とし、勝点で順位を決する
- ・勝点と同じ場合、次の方法で順位を決する

→ ①旗数の得失差 ②直接対決結果 ③ジャンケン

(3) 決勝（トーナメント戦、フラッグ判定、敗者復活戦無し）

- ・基本形、第1・第2指定形から選択（予選も含め同じ形を繰り返し使用してもよい）

2 組手競技

(1) 予選（リーグ戦、上位2名が決勝トーナメントへ進出） ※小学1・2年男Cは3名が決勝T進出

- ・試合時間は1分（フルタイム）
- ・勝ち3点、引き分け1点（0対0の場合は0点）、負け0点とし、勝点で順位を決する
- ・勝点と同じ場合、次の方法で順位を決する

→ ①ポイントの得失差 ②直接対決結果 ③ジャンケン

(2) 決勝（トーナメント戦、敗者復活戦無し）

- ・試合時間は1分30秒フルタイム

3 記入例

Aコート			壮年男子予選				勝点	順位
G1			1	2	3	4	得失差	
1	竈門芋治郎	水日会		△ 0 - 0	○ 6 - 3	× 2 - 4	3 + 1	2
2	我妻 後逸	雷鳴塾			○ 3 - 2	× 0 - 4	3 - 3	
3	嘴平胃之助	獣空館	× 0 - 3	× 2 - 3		△ 1 - 1	1 - 4	4
4	南保禰豆子	明新道場	○ 6 - 2	○ 4 - 0		△ 1 - 1	7 + 8	